

あけびだより

No. 129

2015年7月1日発行

URL <http://www.akebi.or.jp/>

平成27年7月



絵手紙教室

寺下 典子 氏

先日、ホームホスピス推進委員会関西支部主催の講演会に参加致しました。涙しながらの聴講になり私達にも幸せな最期があることを教えられ、生きる喜びを頂きました。

暮らしの中で“死にゆく”こと

ホームホスピスの役割とケアの実際

ホームホスピスは「とも暮らしの家」です。

認知症・虚弱高齢者・神経難病・・・

さまざまな条件をもつ人が

5人,6人,一軒の家でともに暮らす。

そこに必要な介護の手、看護に手がはいる。

ホームホスピスは、

最期まで住人一人一人の暮らしを

尊重しています

そして私たちは、誰もがいつか迎える死の

悲しみを癒し慰めてくれるのは、やはり

「人」なのだと思っています。

(講演会のチラシより)

姫路にも2つのホームホスピスがあります。

ホームホスピス

を学んでみませんか？

- ◆介護者がいない、在宅介護が困難な方。
- ◆がんとか認知症とかの枠をはずして、希望されるすべての人に開かれています。
- ◆1人暮らしで病気になり入院するほどでもないが、でも1人では食事や病状の変化などが不安な方は、病状が安定するまでの利用ができます。
- ◆夜が心細い、不安という方が、夕食や風呂をご一緒し、泊まって帰るナイトケアとしての利用もできます。
- ◆病院では死にたくない、畳の上で死にたい」という願いを持つ人を援助します。
- ◆入居だけでなく、日中だけや短期入所としてご利用できます。病人を残して突然家を留守にしなければならなくなった場合、急な利用にも対応できます。
- ◆普通の自宅に近い環境で、家族も共に支援します。施設になかなか適応できない方や、医療の適切な支援が常時必要とされ家族だけでは不安で、在宅介護が困難と考えていらっしゃる方などは、看護師のいる家なので安心です。

特定非営利活動法人あけび

通所介護施設デイサービスあけび

就労継続支援B型ワークハウスあけび

〒670-0948 姫路市北条宮の町215番地

TEL 079-287-1025 FAX 079-287-1026

Mail: day@akebi.or.jp

通所介護施設デイサービスあけびの実

〒670-0804 姫路市保城363番地の3

TEL 079-280-6931 FAX 079-280-6932

Mail: akebi-no-mi@akebi.or.jp

通所介護施設デイサービスあけびの輪

〒670-0952 姫路市南条1丁目101-1

TEL079-284-0055 FAX079-284-0056

Mail: akebi-no-wa@akebi.or.jp

あけび



今の季節に欠かせない毎年恒例のほう酸団子作りをしました。キレイに丸めていますが、ゴキブリにとってはガタガタしているのどちらが食べやすいのでしょうか。

誕生会



ためきクラブの手品で一日楽しみました。



見野の古墳公園へ、一面に咲き乱れる紫陽花を見に行きました。



三左衛門の川まつりに参加し抹茶を頂きました。ボランティアの石坂さんのお点前を頂きました。



実に行って社交ダンスデビュー。先生のリードが良くスムーズに足が出ました背筋が心なしか伸びていませんか？

あけびの実

ジャガイモ収穫



ビーチボールバレー

今年も、畑でジャガイモの収穫ができました。早速、厨房でコロッケを作ってもらい、皆さんで美味しく頂きました。



誕生会

今月のお誕生日会は、回転寿司へ外食&クレープ作りをしました。好きなネタを選んでおなか一杯食べました。

フラワーアレンジメント



毎月、今回はどんな花が来るか楽しみに待っています。「今日は先生に褒めてもらった!」「今日は微妙やなあ」など色々な会話が飛び交います。



いつものビーチボールバレー、久しぶりにネットを張り、男性対女性で試合を行いました。職員も一緒に汗だくで、大ハッスルしました。いつものことながら試合となると目の色が変わります。

く〜ピン卓球



パラリンピックメダリストの別所キミエさんと、対戦できる時間をたくさん作って頂きました。他のボランティアの方とも、ローテーションで対戦もできました。できれば練習だけでなく試合があればいいとの意見でした。



あけびの輪

リハビリいろいろ



立ち上がり&姿勢矯正リハビリなど個人に合った運動をしています。パーキンソン病は、全身に及ぶ病気です。だからどんなことでもリハビリになります。これに加えて大きな声を出す練習や字の練習なども行っています。そして何よりも楽しく過ごすことが一番ですね。

ワークハウスあけび

お出掛け



リビング姫路に掲載されていましたが“高砂のマトリョーシカ工房”に行ってきた。3人のスタッフの方に指導して頂きながら1人一体を完成させる事にみんな必死に取り組まれてた。皆初体験で、あつ間の2時間りの車の中様に「今日かった！」

いました。この経という帰では一は楽しと喜ば

れていました。スタッフもこれからのワークのお出掛けの在り方を、ただ何かを見学するだけでなく、何かを体験する事を考えていきたいと感じました。

新入所員さんの紹介



私は、石橋和久です。昭和42年10月生まれの47才です。娘と中学生の息子の3人家族です。唐揚げが大好きで、納豆が嫌いですが、後は殆ど食べます。あけびに通い始めて、新しい事が経験出来て楽しいです。



お知らせ

すこやかセンターバザー
7月15日(木)





長野のリンゴ農園小林様です。

全国大会に行って

大西 正

茨城県水戸市で開催された全国大会と第一回日本パーキンソン病コンgresに参加しました。47支部850名の会員数になり、パーキンソン病患者を看護・介護など周りで支える活動が始まっています。医療講演会は茨城県立医療大学・永田博司教授がお話されたのですが、講演のまとめとして「仁・命・斌」と言われました。良かったと思って控えてきたのはいいのですが、忘れてしまいました。だれか調べて下さい。コンgresには500名余りが参加し、あけびは、木村美貴子さんと岡野紀美子さん水田先生と組んで「パーキンソン病をまわりで支える」というテーマで発表しました。私個人としてはDBSに関する問題で、今悩んでいる症状がびたりとあてはまるので、次の受診日に相談しようかと思いました。次回は宮城県です。大勢で参加しましょう。

6月23日～25日、第39回全国パーキンソン病友の会全国大会と 第1回JPCに参加する為に茨城県水戸市に利用者さんと共に行ってきました。全国大会では、全国の患者さんと交流したり、順天堂大学の林明人先生と京都大学の高橋良輔先生の講演会を受講し、パーキンソン病の治療やリハビリについて学習しました。また、新制度における難病医療費助成制度についてのお話もありました。

JPCは、パーキンソン病患者さんと医療従事者が一堂に集まって(500名)、診断・治療・患者さんと主治医のあり方・患者さん自信が工夫されていることなどを話し合う場でした。一つの題名に対して医療従事者と患者がそれぞれの立場で意見を述べ、それに対して会場と質疑応答するというスタイルのプログラムが12個準備されていました。その中であけびは、京都宇多野病院の水田英二先生と「パーキンソン病患者の看護と介護 パーキンソン病患者を周りで支える」というタイトルで発表させていただきました。たくさんの方から、「あけびが目標です」という声を頂戴しました。第1回JPCに参加させて頂いて一番強く感じたことは、こんなにも多くの方が、パーキンソン病について考えておられることを知り、嬉しく心強く思いました。

市民公開講座に行ってきました。 佐橋 暎子

6月14日(日曜日)小野市のうるおい交流館で行われた市民公開講座に行ってきました。患者さんはじめそれにかかわる医療・介護・家族などといっぱいの人でした。内容は①パーキンソン病とはどんな病気か②治療方法について③リハビリや運動の大切さです。この講座を通じて感じたことは「パーキンソン病と闘ってはいけない」という事です。「仲良くしよう」という事です。そして何もかもできなくなった。もうすべてが終わりだと考えずに何でもやってみようという気持ちを持つことです。このように自分を制限しないしているとストレスをためなくなるので、不思議と身体も動きやすくなるのではないのでしょうか。パーキンソン病は天寿を全うするので。映画評論家の小森のおばちやまは90歳を過ぎて亡くなりました。岡本太郎さんも80歳代永六輔さんなどはまだまだ元気で仕事をしておられます。一番大切だなと思う言葉は「あきらめない」という事です。

姫路ブロック7月交流会

7月19日(日) 13:30～あけびの実
テーマ：転倒してからの立ち上がりと寝返り

全国パーキンソン病友の会 兵庫県支部
総会&医療相談会

日時：H27年7月5日(日)
総会：午前10:30～12:00すくらむ持参
医療相談：午後1時～4時
場所：神戸市勤労会館4階405号
講師：神戸大学医学部附属病院
特定助教 上田健博



「卓球クラブ」
7月・8月の練習日

7月14日(火) 7月 9日(木)
7月28日(火) 7月23日(木)
8月 4日(火)
8月18日(火) 8月27日(木)

場所：ルネス花北体育館
持物：上靴・ラケット

連絡は北村・長谷川まで(287-1025)